

酒蔵通りと温泉街エリア

武雄市・嬉野市・鹿島市・白石町

1日コース
おすすめ時期 11-3月

昭和の産業文化
を感じる、工場跡
が見れる!



1 志田焼の里博物館

陶土製造から焼成まで全工程を一つの工場で大規模に行っていた志田陶磁器株式会社の工場跡。火鉢等を中心にかなりの生産量を誇っていたが昭和59年に閉鎖した。当時の作業状況を残したまま風化しつつあった工場跡の価値が再認識され、平成9年に「志田焼の里博物館」として開設した。

DATA

嬉野市塩田町大字久間乙3073
☎0954-66-4640
開館時間: 9:00~17:00
休館日: 水曜日、年末・年始
入館料: 大人300円、小人150円
駐車場: あり

見所MEMO

建造物群全体、用具備品などを含めて貴重な産業遺構。大規模に行われていた事例は全国的にも稀である。

塩田津の町並

【嬉野市塩田町大字馬場下甲】

江戸時代、長崎街道の宿場町として栄えた塩田津。江戸時代後期の商屋や町家が残る町並みは、塩田津の古き良き文化と歴史が色濃く残っている。

オススメ寄り道スポット



旭ヶ岡公園【鹿島市高津原城内】

県下でも有数の桜の名所と言われる旭ヶ岡公園は、旧鹿島藩2万石の居城跡。毎年3月下旬から4月上旬までの桜祭りには、多く人が訪れる。大手門や赤門は県の重要文化財に指定されている。

オススメ寄り道スポット



塩田の名物菓子「濃口香」は上品な美味しさ

2 矢野酒造

矢野酒造は、江戸時代末期(寛政8年)より創業、旧長崎街道多良往還(多良海道)沿いにあり、現在も造り酒屋を営んでいる。肥前浜宿を中心に行われている「酒蔵ツーリズム」のコースの中にも入っている。

DATA

鹿島市大字高津原字一本杉3903-1
駐車場: あり

見所MEMO

明治37年~昭和初期にかけて建てられた酒蔵。国の登録有形文化財。



3 中島酒造場

浜川の河口に位置するこの地は、江戸時代、長崎脇街道である多良海道の宿場町として、「浜千軒」と言われるほど賑わっていた。現在も酒造場の主屋や土蔵が多く残り、通称「酒蔵通り」と呼ばれている。中島酒造は浜町の中で一番古い酒屋である。

DATA

鹿島市浜町乙2714
駐車場: 酒蔵通りの両端にあり

主要建物は
絨漆塗りで
「鎮西日光」とも
呼ばれている!

オススメ寄り道スポット



見所MEMO

土蔵造の主屋の入口には、馬を繋ぐ鉄の輪が残っている。



国の重要伝統的建造物群
保存地区に指定された、
通称「酒蔵通り」
酒蔵見学なども
行われている。

オススメ寄り道スポット



道の駅鹿島

【鹿島市大字音成甲4427-6】

有明海を一大パノラマで楽しめる干潟展望館、お土産が豊富にそろった「千葉市(せんじゃ〜いち)」、カキ焼き施設などで年中楽しめる道の駅。

カキ焼きの
シーズンは
11月から3月



4 光武酒造場

光武酒造は、創業は江戸時代に遡ると伝えられ、現在も酒造りを営んでいる。明治14年に建設された主屋が今も残る。

DATA

鹿島市浜町乙2421-1
駐車場: 酒蔵通りの両端にあり



見所MEMO

北側に土蔵造の
建物がある。

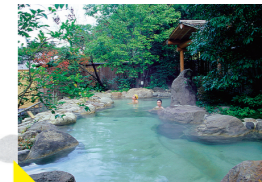
オススメ寄り道スポット

のんびり・ゆったり・温泉めぐり



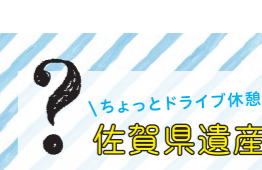
武雄温泉【武雄市】

シンボルの楼門は、東京駅を設計した佐賀県出身の辰野金吾の設計。佐賀藩の殿様、宮本武蔵、シーボルトなど多くの著名人が入った名湯で、「肥前国風土記」にも記されている。



嬉野温泉【嬉野市】

「肥前国風土記」に「東の辺に湯の泉ありて能く、人の病を癒す」と記されている嬉野温泉は、「日本三大美肌の湯」としても人気。伝統ある大旅館も立ち並び、風情と歴史を感じさせる温泉街。



?
ちょっとドライブ休憩!
佐賀県遺産 de クイズ

鹿島市浜町に位置する肥前浜宿酒蔵通りでは、かつてその南側を流れる川を使い長崎まで船で酒を運んでいたそうです。さて、その川の名前は、何でしょう。

A 1.「酒川」 2.「浜川」 3.「徳川」

クイズの答えは裏表紙をみてね。